

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○8月観光情報

【栗田美術館特集陳列 輸出された伊萬里焼】

17世紀初頭東南アジアからヨーロッパへ遥かな海を越えて運ばれ、近年、日本に戻ってきた伊萬里焼の中から、輸出最盛期である17世紀後期から18世紀のヨーロッパ向け製品を中心に展示します。彼らの生活に取り入れられた日常品の数々や、室内を飾った調度品、さらに特別な注文品など60件余りをご鑑賞いただきます。

日 時:8月27日(日)まで

午前9時30分～午後5時

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

場 所:栗田美術館(駒場町1542番地)

入館料:一般1,250円(1,000円)、小・中・高500円(400円)

()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約15分

問合せ:栗田美術館 ☎0284-91-1026

【足利市立美術館企画展 顕神の夢 超越的なもののおとずれ】

表現者が時に遭遇する、非合理的な経験がモチベーションとなり得ることは確かです。彼らは、訪れたヴィジョンをたよりに、自己を超えた名状し難い「何か」を捉えるべく身を焦がす思いで制作します。本展は、今までモダニズムの尺度により零れ落ち、また、十分に評価されなかった作品に光をあてる一方、すでに評価が定まった作品を、新たな、いわば「霊性の尺度」でもって測りなおすことにより、それらがもつ豊かな力を再発見、再認識する試みです。

日 時:8月17日(木)まで

午前10時～午後6時(最終入場は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日が休館)

場 所:足利市立美術館(通2丁目14-7)

入館料:一般710円(560円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【足利市立美術館企画展 色彩散歩 -Promenade In Color- コレクション展2023】

私たちが目にする景色は、無数の色に彩られています。こうした色彩は、さまざまな感情や記憶を呼び起こしてくれます。そして絵画などの美術で表される色彩も、私たちに働きかけて心を動かす作用を持っています。この展覧会では、足利市立美術館が所蔵する作品の中から、多様なジャンルの美術家が、とりわけ色彩に強い思いを込めて制作した作品を厳選してご覧いただきます。美術館の中で色彩をめぐり歩くひとときを、どうぞお楽しみください。

日時:8月26日(土)～10月22日(日)

午前10時～午後6時(最終入場は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日が休館)

場所:足利市立美術館(通2丁目14-7)

入館料:一般710円(560円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金

交通:JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

【史跡足利学校 特別展示 植物学者・牧野富太郎が学んだ植物の本】

日本における植物分類学を確立し、数多くの著書を残すなど「日本の植物学の父」といわれた植物学者・牧野富太郎氏が学んだとされる書籍に関する特別展示第2弾が開催されております。牧野富太郎氏の勉学のきっかけになった「本草綱目」や少年時代の牧野富太郎氏を魅了した「第二博物図」(復刻)などご覧いただきます。

令和5年4月3日より実施されております特別展示「植物学者・牧野富太郎も参考にした『翻刻植物学』とのその版木」も好評のため、引き続き展示しています。

日時:9月3日(日)まで

午前9時～午後5時(受付は午後4時30分まで)

場所:復元建物庫裡 展示室(史跡足利学校内)

料金:無料(ただし史跡足利学校参観料が別途必要。※小中学生は無料)

交通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道・足利ICより車で約10分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約30分

問合せ:史跡足利学校事務所 ☎0284-41-2661

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【栃木県誕生150年・足利花火大会創始120年記念 第107回足利花火大会】

「足利花火大会」は明治36年から始まった伝統ある花火大会です。

関東有数の規模を誇り、全国から訪れる多くの観覧者で賑わうため「50万人の夕涼み」と呼ばれています。

打上花火、大玉花火、大ナイアガラやワイドスターメインなど約2万発が打ち上げられ、多くの方々の夏の思い出として心に刻まれる足利市の花火大会です。

日 時:8月5日(土)

午後7時15分～午後8時45分

※荒天の場合は翌日、翌々日に順延

場 所:田中橋下流渡良瀬運動公園及び田中橋下流河川敷

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で約5分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約5分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより30分

※臨時駐車場は公共機関や小中学校、大型ショッピングセンターなど

※大会会場付近は午後5時30分～午後9時まで交通規制

問合せ:足利花火大会実行委員会(足利商工会議所) ☎0284-21-1354

【灯ろう流し】【開催未定】

足利市内を流れる渡良瀬川で毎年8月17日に先祖や故人の霊を送る「灯ろう流し」が行われます。ろうそくの火を灯した灯ろうが、渡良瀬川の川面に幻想的に浮かびます。

しめやかな読経が流れるなか、毎年、2千もの灯ろうが渡良瀬川に流され、ご先祖様や今は亡き人達の霊に思いを馳せてお送りする行事です。

※渡良瀬川中橋の掛け替え工事の関係で一度中止と決定いたしましたが、状況が変わってきたため開催未定となりました。

問合せ:足利仏教和合会 幹事 福厳寺 ☎0284-21-6990

【石尊山梵天あげ】(栃木県指定文化財)

原始的な太陽信仰を伝える「石尊山の梵天祭り」は、毎年月遅れ盆の8月14日早朝に行われる行事で、神仏習合時代の石尊山信仰を色濃く残し、奉納される梵天が異色の形態をとることから栃木県無形民俗文化財に指定されています。

開催日には、ふもとの不動堂で鶏足寺住職による護摩供養と安全祈願を行った後、心身を清めた白装束の若者達の手によって、午前4時に山伏のホラ貝を合図に15mもある御柱(杉丸太)と7月末に作られた250体余りの梵天(幣束)を石尊山に担ぎ上げ、日の出とともに山頂に打ち立て、石尊神社奥宮に奉納します。山頂でお柱が立てられ、その杉丸太を登り、先端の名板・帝釈天・幣串を取り、家内安全・商売繁盛を願って家に持ち帰り飾るといってお祭りです。

日 時:8月14日(月)

午前3時～

催 時:午前3時 護摩供養

午前4時 登頂開始

場 所:石尊山(小俣町)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

交通:JR両毛線小俣駅より徒歩25分、車で5分

東武伊勢崎線足利市駅より車で25分

北関東自動車道足利ICより約30分

北関東自動車道太田桐生ICより約20分

駐車場:叶花(かのうけ)集会所

問合せ先:梵天講・講元 藍場様 ☎090-9376-3017

【第39回足利百景八木節のふるさと祭り】

八木節は、軽快なリズムで全国に知られている郷土芸能であり、足利市の御厨地区(八木宿)が発祥です。

「足利百景八木節のふるさと祭り」は先人から伝承されてきた八木節を後世に伝え、地域の方々へ連帯の輪を広げる目的で毎年8月16日に開催されています。

日時:8月16日(水)

午後5時～午後9時

場所:御厨地区コミュニティ運動場(百頭2017)

問合せ先:御厨公民館 ☎0284-71-0296

花情報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。

時期:～11月頃まで

場所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【すいれん】

水辺の花の女王・熱帯性スイレン、紅・紫・白等の色鮮やかな花が涼やかに可憐に咲きほこります。

時期:熱帯性スイレン(～11月下旬)

場所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

体験 1

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。（八木節の実演は10名以上の団体様で、事前予約をお願いしております。）

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利市八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

日 時:4月16日(日)～11月中旬の日曜日・祝日 午後2時～午後3時

場 所:太平記館南側駐車場(伊勢町3丁目6-4)

行 事:八木節公演

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合先:観光八木節実行委員会(足利市観光まちづくり課内) ☎0284-20-2264

体験2

【ブルーベリー】

期間は、6月上旬～8月下旬頃ですが、ブルーベリー園によって収穫期間が異なります。また摘み取り体験等につきましては事前に各農園ご確認ください。

問合先:ブルーベリーファームすなが ☎0284-62-0266

白髭農園 ☎090-4011-7659(桑原)

あしかがブルーベリー感動農園 ☎090-3067-1301(井上)

【ぶどう】

期間は、7月中旬～10月下旬頃までですが、ぶどう園やぶどうの種類によって収穫期間が異なりますのでお問合せください。

問合先:中村ぶどう園 ☎0284-91-1230

戸叶ぶどう園 ☎0284-91-0727

堀越ぶどう園 ☎0284-91-0433

久保ぶどう園 ☎0284-41-9055

尾花ぶどう園 ☎0284-72-6790